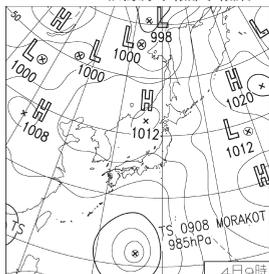


日々の天気図

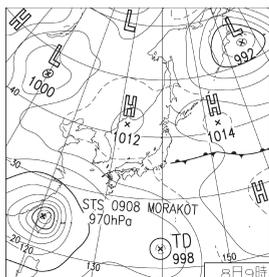
— No. 91

2009年8月

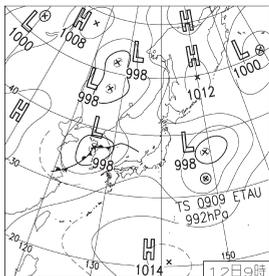
- ・6日～8日、台風第8号により先島諸島を中心に大雨と暴風
- ・9日～11日、台風第9号により西日本を中心に大雨、徳島県那賀町木頭出原461mm、兵庫県佐用326.5mmの日降水量
- ・30日～31日、台風第11号により伊豆諸島を中心に大雨と暴風
(気象庁予報部予報課)



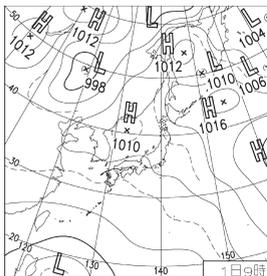
4日(火)九州北部で梅雨明け
日本付近は日本海の高気圧に覆われ、広い範囲で晴れ間が広がり、九州北部で梅雨明け。岐阜県多治見市で最高気温36.3℃の猛暑日。



8日(土)台風第8号 台湾を北上
日本の南で熱帯低気圧が発生し北上。日本付近は前線や気圧の谷の影響で概ね曇り、西日本～北日本の山沿いで雷雨。大分県玖珠町で最高気温37.3℃の猛暑日。

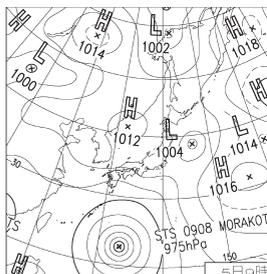


12日(水)西日本で不安定
台風第8号から変わった低気圧や気圧の谷の影響で全国的に曇り。暖かく湿った空気が流れ込んだ西日本の各地で猛暑日となり所々で雷雨。京都府京田辺市で最高気温36.4℃。

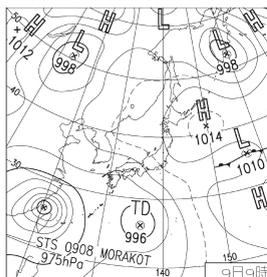


1日(土)四国～東海で大雨

南からの暖かく湿った空気の影響で、四国～東海では局地的な大雨。三重県紀北町紀伊長島で81mm/1h。京都で突風を観測。北日本では概ね晴れて最高気温は秋田市で31.4℃。

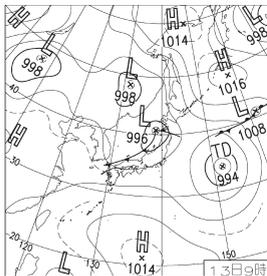


5日(水)台風第8号 西北西進
台風第8号の外側の雨雲が九州～東海の太平洋沿岸にかり雨や曇り、本州の内陸部と北海道では広く高気圧に覆われ晴れ。熊本県玉名市市明で最高気温35.4℃の猛暑日。

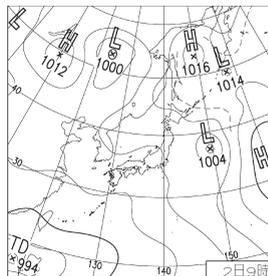


9日(日)台風第9号発生

日本の南で台風第9号発生。日本付近には湿った空気が流れ込み全国的に曇り、四国～東南北部の所々で局地的に激しい雷雨。徳島県神山町旭丸で日降水量394mm。

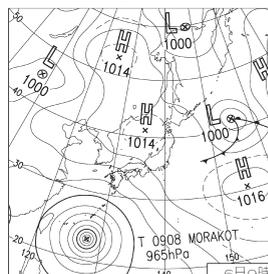


13日(木)台風第9号 熱低下
低気圧が北日本へ進み前線がゆっくり南下。西日本～北日本の広い範囲で湿った空気が流れ込み所々で雷雨。秋田県藤里町で45mm/1h。台風第9号は日本の東で熱帯低気圧へ。

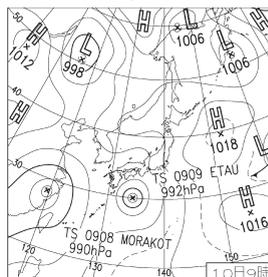


2日(日)近畿で非常に激しい雨

本州の上空に流れ込んだ寒気や南からの暖かく湿った空気の影響で、近畿～東日本の所々で激しい雨。兵庫県福崎町で69.5mm/1h。沖縄は終日晴れて猛暑日、北海道は冷たい雨。

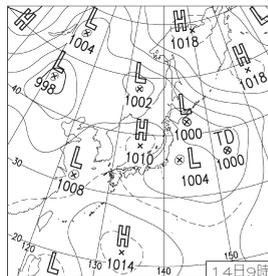


6日(木)先島諸島暴風域へ
未明に伊豆諸島北部で、夜遅く関東北部で非常に激しい雨。群馬県高崎市上里見で70mm/1h。沖縄県石垣市登野城で最大瞬間風速40.6m/s。台風第7号は熱帯低気圧へ。



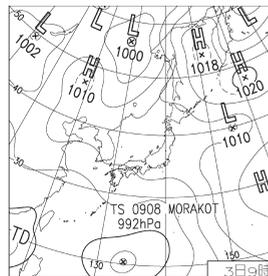
10日(月)太平洋側で大雨

台風第9号の影響で西日本～関東の太平洋側で大雨。徳島県那賀町木頭出原で100.5mm/1hの他各地で観測史上1位の記録を更新。晴れた沖縄県伊是名村仲田では35.5℃の猛暑日。



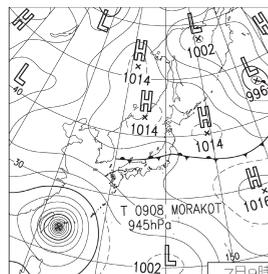
14日(金)夏の晴天

日本海の高気圧に覆われ西日本～東日本は概ね晴れ。低気圧や気圧の谷の影響で東海と関東南部、北日本の一部などでは所々で雨。西日本～東日本では猛暑日の所も。

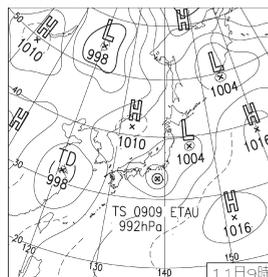


3日(月)近畿、東海で梅雨明け

上空の寒気の影響で、西日本では不安定となり所々で激しい雨。近畿と東海では統計開始以来最も遅い梅雨明け。南シナ海で台風第7号、日本の南で第8号発生。

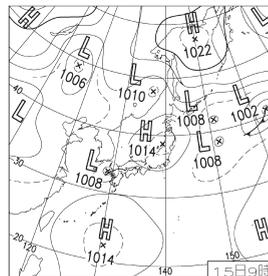


7日(金)台風 先島諸島に最接近
台風第8号が接近。先島諸島は大荒れ。沖縄県与那国町祖納で最大瞬間風速40.7m/s。北陸～東南北部は前線の影響で雨。茨城県空間市で81.5mm/1h。



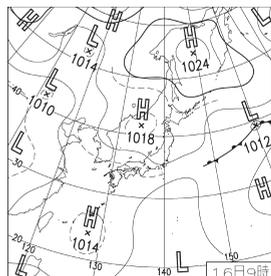
11日(火)静岡県で震度6弱

駿河湾を震源とする地震で静岡県伊豆市、焼津市、牧之原市、御前崎市で震度6弱。台風第9号は伊豆諸島南部を通過。静岡県伊豆市天城山で76mm/1h。台風第8号熱帯低気圧へ。

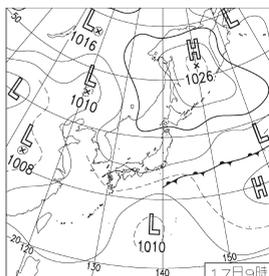


15日(土)九州北部で雷雨

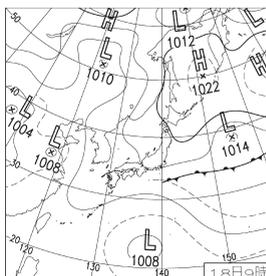
高気圧に覆われ、東日本は晴天が続く。九州北部は動きの遅い低気圧の影響で、福岡、長崎、熊本などで雷雨。福岡県朝倉市で74.5mm/1hを観測し、観測史上1位の記録を更新。



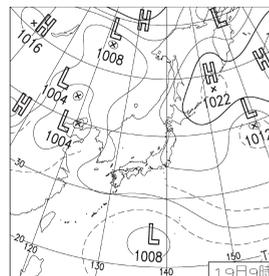
16日(日)高知県 非常に激しい雨
日中、四国、中国と北海道の東部で曇り、他は概ね晴れ。上空の寒気の影響で朝まで高知県で非常に激しい雨。高知県黒潮町佐賀で62 mm/1 h、仙台市でアキアカネ初見。



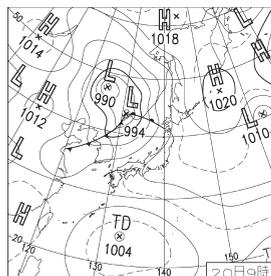
17日(月)朝晩は秋の空
高気圧に覆われて本州中心に晴れ。九州の一部や北海道は上空の寒気の影響で雨、西～東日本で広く真夏日、近畿や東海は猛暑日となる一方、長野県南牧村野辺山で最低気温8.4℃。



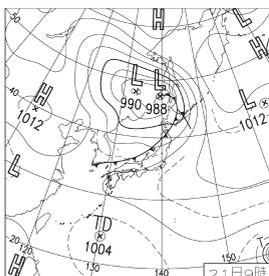
18日(火)台風第10号発生
オホーツク海の高気圧に覆われ関東以西では晴れ。北日本では冷たく湿った空気が流れ込み、曇って気温は上がらず、釧路の最高気温18.2℃は9月下旬並。



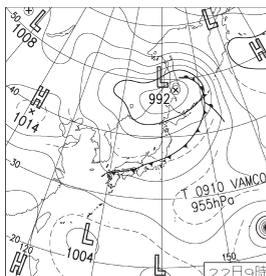
19日(水)那覇で局地的大雨
北日本を気圧の谷が通過した影響で、北海道を中心に雨。低圧部が近づいた沖縄県那覇市では局地的大雨により排水路で災害発生。西日本～東日本は高気圧に覆われ、概ね晴れ。



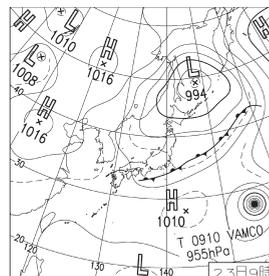
20日(木)富山県で猛暑
沿海州の低気圧や前線の接近により、北日本は曇りで所々雨。その他は概ね晴れて、北陸の一部では猛暑日となった。富山市の最高気温は平年より5.3℃高い35.6℃。



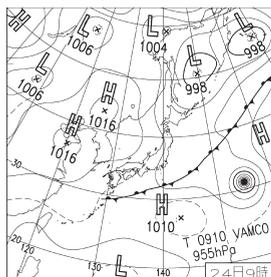
21日(金)寒冷前線通過
北海道は低気圧、西日本～東北の日本海側は寒冷前線通過時に雨。南西諸島は熱帯低気圧の影響で、所々にわか雨。最低気温はほぼ全国的に平年より高めで蒸し暑い朝。



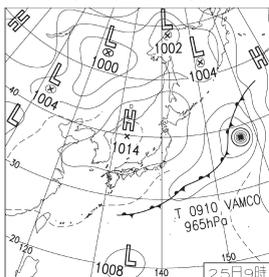
22日(土)全国的に残暑続く
南西諸島は暖かく湿った空気が流れ込み、九州～北海道では低気圧や前線の影響で所々にわか雨。一方、日本海側を中心に晴れた所もあり、関東以西の各地で真夏日。



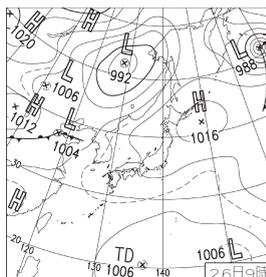
23日(日)台風第10号 太平洋北上
オホーツク海の低気圧と気圧の谷の影響で、北日本は曇りで所々雨。その他は概ね晴れたが、上空に寒気が流れ込み一部でわか雨。台風第10号は日本の東を北上。



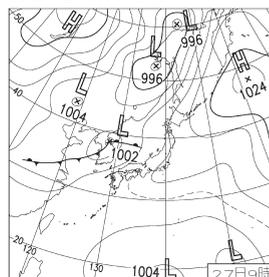
24日(月)関東で局地的大雨
上空の寒気の影響で、西日本～北日本の広い範囲で局地的大雨。東京都田谷区58.5 mm/1 h。東海～関東の内陸部は放射冷却で気温下降。長野県木曾町開田高原で最低気温6.1℃。



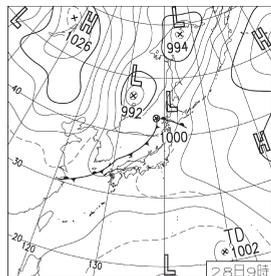
25日(火)低温注意報、乾燥注意報
日本海に移動した大陸育ちの高気圧に覆われ全国的に晴れ。夜間の放射冷却で石川、新潟、長野、群馬に低温注意報。日中はからっとした暑さ、西日本には広く乾燥注意報。



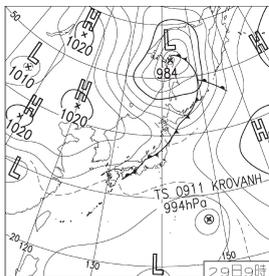
26日(水)全国的に涼しい朝
最低気温は、沖縄を除いて9月上旬～下旬並、大分市では18.6℃の9月下旬並。四国東部～紀伊半島で曇りや雨。その他は概ね晴れ。台風第10号は温帯低気圧へ。



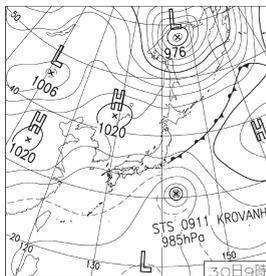
27日(木)四国、北日本で雨
本州付近は高気圧に覆われ、日中概ね晴れ。南海上から湿った空気が流入した四国は雨、北日本も日本海の低気圧の接近で次第に雨。関東は放射冷却により前日より更に涼しい朝。



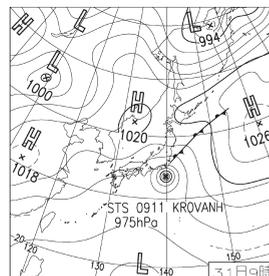
28日(金)台風第11号発生
低気圧が日本海を北東進、西日本～東日本の日本海側や北日本で雨。その他の地方は晴れ。大分県佐伯市蒲江で76.5 mm/1 hの非常に激しい雨。南鳥島の西で台風第11号発生。



29日(土)前線が通過
前線が西日本～北日本を通過。北日本の広い範囲で雨。山形県酒田市飛鳥で61 mm/1 hの非常に激しい雨。西～東日本の太平洋側各地で真夏日。台風第11号父島の東を北上。



30日(日)台風 伊豆諸島に接近
台風が接近した伊豆諸島や、前線付近の関東では雨。その他は中国大陸の高気圧に覆われ、日本海側を中心に乾燥した晴れ。日本海側の最高気温は9月中旬～下旬並。

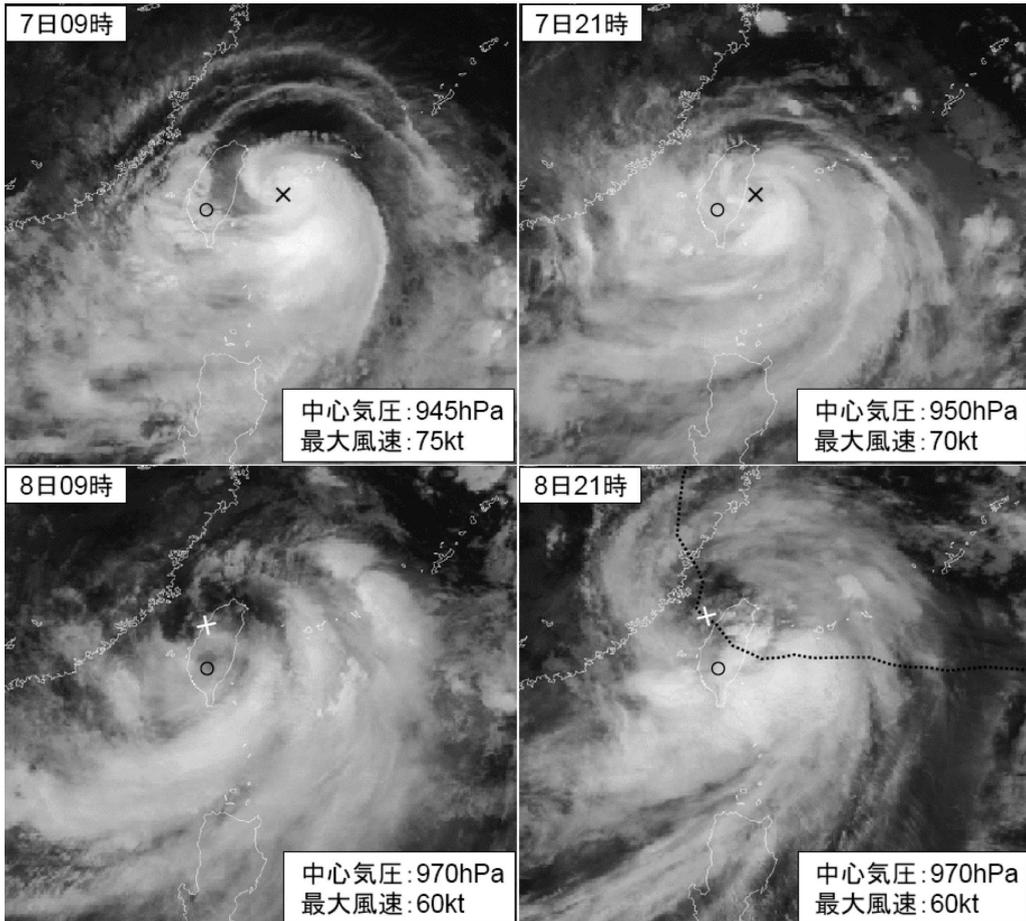


31日(月)台風 房総半島を北上
台風は伊豆諸島～房総半島沖を北上。伊豆諸島～関東、東北太平洋側を中心に強い雨と風。東京都八丈島西見で最大瞬間風速42.7 m/s。関東～東北の最高気温は10月上旬～下旬並。



今月のひまわり画像—2009年8月

台湾に甚大な被害をもたらした台風0908号



第1図 2009年8月7日～8日の赤外画像。時刻は日本時間、×は台風の中心位置、○の中心は高雄県甲仙郷小林村、8日21時の図の点線は台風の経路、1 kt=0.51 m/s。

1959年の伊勢湾台風から50年目に当たる2009年の8月、台湾では台風0908号により死者・行方不明者が700名近くになる甚大な被害をもたらされた。台湾でも50年前の1959年8月に台風5909号による大雨で667名の死者が出ているが、今回はそれを上回る規模の災害となり、防災対応が後手にまわった行政院（内閣）は責任をとって総辞職する事態にまで至った。

強い勢力の台風が台湾に上陸することは珍しくない。台風が台湾に上陸すると南北に連なる3,000 m級の山脈の影響で下層～中層の構造が崩れ、急速に勢力

が弱まることが多い。台風0908号も第1図に時系列で示した赤外画像のように急速に衰えた。

1951年以降、台湾に上陸または通過した台風は97個あったが、台風0908号はそれらと比較すると動きが遅く、長時間台湾付近に居座っていたのが特徴的であった。このため、図中の○の中心にあたる高雄県甲仙郷小林村付近には、次々に発達した積乱雲がかかって大雨となり、大規模な土石流が発生して400名以上が生き埋めになるなどの災害が発生した。

（気象庁総務部航空気象管理官付 原 基）